

第19回女川原子力発電所2号機の安全性に関する検討会「(資料-3)新規制基準適合性審査申請 <(9)事故対応の基盤整備> 制御室」 比較表

修正前	修正後	備考																																																				
<div style="text-align: center;"> <p>資料-3</p> <p>第19回安全性検討会資料</p> <p>【関連質問への回答】</p> <p>新規制基準適合性審査申請 <(9)事故対応の基盤整備> 制御室</p> <p>令和元年8月30日 東北電力株式会社</p> <p>枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。</p> <p><small>All rights reserved. Copyrights © 2019, Tohoku Electric Power Co., Inc.</small></p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>資料-3</p> <p>第19回安全性検討会資料</p> <p>【関連質問への回答】</p> <p>新規制基準適合性審査申請 <(9)事故対応の基盤整備> 制御室</p> <p>令和元年8月30日 東北電力株式会社</p> <p>枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。</p> <p><small>All rights reserved. Copyrights © 2019, Tohoku Electric Power Co., Inc.</small></p> </div>																																																					
<div style="text-align: center;"> <p>重大事故等対処施設 (9)事故対応の基盤整備-制御室 (第17回関連質問への回答)</p> <p>第17回資料に一部加筆</p> <p>中央制御室の運転員の被ばく評価の結果、重大事故等時の実効線量は7日間で約51mSvであり、 運転員の実効線量が100mSvを超えないことを確認した。</p> <p>表3 運転員の被ばく評価結果 (単位:mSv)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>被ばく経路</th> <th>実効線量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中央制御室滞在時</td> <td>(1)原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約4.1×10^{-2}</td> </tr> <tr> <td>(2)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約7.0×10^0</td> </tr> <tr> <td>(3)地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約6.7×10^0</td> </tr> <tr> <td>(4)室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約3.2×10^1</td> </tr> <tr> <td>小計((1)+(2)+(3)+(4))</td> <td>約4.5×10^1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">入退域時</td> <td>(5)原子炉建屋内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約1.2×10^{-1}</td> </tr> <tr> <td>(6)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約1.6×10^{-2}</td> </tr> <tr> <td>(7)地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約5.2×10^0</td> </tr> <tr> <td>(8)大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約5.7×10^{-3}</td> </tr> <tr> <td>小計((5)+(6)+(7)+(8))</td> <td>約5.4×10^0</td> </tr> <tr> <td>合計((1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8))</td> <td>約51</td> </tr> </tbody> </table> <p>※被ばく経路毎の評価方法は「2. 参考」を参照</p> <p style="text-align: right;">9</p> </div>	被ばく経路	実効線量	中央制御室滞在時	(1)原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 4.1×10^{-2}	(2)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 7.0×10^0	(3)地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 6.7×10^0	(4)室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 3.2×10^1	小計((1)+(2)+(3)+(4))	約 4.5×10^1	入退域時	(5)原子炉建屋内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 1.2×10^{-1}	(6)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 1.6×10^{-2}	(7)地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 5.2×10^0	(8)大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 5.7×10^{-3}	小計((5)+(6)+(7)+(8))	約 5.4×10^0	合計((1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8))	約51	<div style="text-align: center;"> <p>重大事故等対処施設 (9)事故対応の基盤整備-制御室 (第17回関連質問への回答)</p> <p>第17回資料に一部加筆</p> <p>中央制御室の運転員の被ばく評価の結果、重大事故等時の実効線量は7日間で約51mSvであり、 運転員の実効線量が100mSvを超えないことを確認した。</p> <p>表3 運転員の被ばく評価結果 (単位:mSv)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>被ばく経路</th> <th>実効線量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中央制御室滞在時</td> <td>(1)原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約4.1×10^{-2}</td> </tr> <tr> <td>(2)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約7.0×10^0</td> </tr> <tr> <td>(3)地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約6.8×10^0</td> </tr> <tr> <td>(4)室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約3.2×10^1</td> </tr> <tr> <td>小計((1)+(2)+(3)+(4))</td> <td>約4.5×10^1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">入退域時</td> <td>(5)原子炉建屋内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約1.2×10^{-1}</td> </tr> <tr> <td>(6)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約1.6×10^{-2}</td> </tr> <tr> <td>(7)地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約5.2×10^0</td> </tr> <tr> <td>(8)大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約5.7×10^{-3}</td> </tr> <tr> <td>小計((5)+(6)+(7)+(8))</td> <td>約5.4×10^0</td> </tr> <tr> <td>合計((1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8))</td> <td>約51</td> </tr> </tbody> </table> <p>※被ばく経路毎の評価方法は「2. 参考」を参照</p> <p style="text-align: right;">9</p> </div>	被ばく経路	実効線量	中央制御室滞在時	(1)原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 4.1×10^{-2}	(2)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 7.0×10^0	(3)地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 6.8×10^0	(4)室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 3.2×10^1	小計((1)+(2)+(3)+(4))	約 4.5×10^1	入退域時	(5)原子炉建屋内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 1.2×10^{-1}	(6)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 1.6×10^{-2}	(7)地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 5.2×10^0	(8)大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 5.7×10^{-3}	小計((5)+(6)+(7)+(8))	約 5.4×10^0	合計((1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8))	約51	<p style="text-align: center;">評価点の適正化</p>
被ばく経路	実効線量																																																					
中央制御室滞在時	(1)原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 4.1×10^{-2}																																																				
	(2)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 7.0×10^0																																																				
	(3)地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 6.7×10^0																																																				
	(4)室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 3.2×10^1																																																				
小計((1)+(2)+(3)+(4))	約 4.5×10^1																																																					
入退域時	(5)原子炉建屋内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 1.2×10^{-1}																																																				
	(6)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 1.6×10^{-2}																																																				
	(7)地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 5.2×10^0																																																				
	(8)大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 5.7×10^{-3}																																																				
小計((5)+(6)+(7)+(8))	約 5.4×10^0																																																					
合計((1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8))	約51																																																					
被ばく経路	実効線量																																																					
中央制御室滞在時	(1)原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 4.1×10^{-2}																																																				
	(2)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 7.0×10^0																																																				
	(3)地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 6.8×10^0																																																				
	(4)室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 3.2×10^1																																																				
小計((1)+(2)+(3)+(4))	約 4.5×10^1																																																					
入退域時	(5)原子炉建屋内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 1.2×10^{-1}																																																				
	(6)放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 1.6×10^{-2}																																																				
	(7)地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 5.2×10^0																																																				
	(8)大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 5.7×10^{-3}																																																				
小計((5)+(6)+(7)+(8))	約 5.4×10^0																																																					
合計((1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8))	約51																																																					